

1 第2次計画策定に向けて

〔概要版〕

(1) 市立高等学校改革推進計画 第1次計画

「川崎市立高等学校教育振興計画（平成15年5月）」において示された取組内容のうち「新しい視点による学校・学科・学系の創造」を具体的に推進するため「かわさき教育プラン」、「川崎市新総合計画」との整合を重視し平成19年7月に策定。**川崎高等学校において併設型の中高一貫教育校、二部制定時制課程の設置等の再編が実施**された。

(2) 高校教育を取り巻く状況

- 中央教育審議会初等中等教育分科会高等学校教育部会「審議のまとめ」（平成26年6月）より
  - ・「**共通性の確保**」：学び直しの充実、自己評価の充実、基礎学力の確実な習得 等
  - ・「**多様化への対応**」：キャリア教育・職業教育の推進、優れた才能や個性を伸ばす学習の機会の提供、グローバル人材の育成、ICT教育の推進 等
- 教育再生実行会議による第11次提言（令和元年5月）より
  - ・Society5.0を生き抜くための力や生徒一人ひとりが能動的に学ぶ姿勢を共通的に身に付けさせる。
  - ・将来、世界を牽引する研究者や幅広い分野で新しい価値を提供できる人材となるための力を育む。
  - ・「総合的な探究の時間」や「理数探究」等における問題発見・解決的な学習活動の充実を図る。
- その他
  - ・川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進方針の策定。（平成31年2月）
  - ・ICT環境は新たな学びの基盤として不可欠なものであり、学習者用コンピュータの整備が必要。

(3) 長期保全計画の策定

第1次計画において、**高津高等学校の改築に合わせて第2次計画を策定する予定**であったが、長期保全計画に基づく取組により、**当面は改築を行わず、改修による再生整備と予防保全を基本として長寿化**を図ることとなった。

(4) 市立高等学校改革推進計画 第2次計画 の策定

社会状況の変化に対応するとともに、振興計画で示された取組「**教育内容・方法の充実**」、「**開かれた学校づくり**」、「**意欲的な活動を支援する条件づくり**」の着実な推進を図るため第2次計画を策定する。各校が特色ある教育を進め、多様な学習ニーズに対応するとともに環境の変化を踏まえながら、さらに魅力ある市立高等学校の創出を図る。

2 第1次計画の概要及び取組状況

(1) 全日制課程

①川崎高等学校

- ・川崎らしい特色をもつ**併設型の中高一貫教育校**として川崎高等学校附属中学校を平成26年度に開校。
- ・国際都市川崎をリードするたくましい人材の育成を目指し、体系的・継続的な教育活動を展開。

②幸高等学校（商業高等学校）

- ・平成22年度から商業科・情報処理科・国際ビジネス科の3科を**ビジネス教養科の1科に統合**。
- ・平成29年度から**普通科を設置**し、校名を「幸高等学校」と変更。

③川崎総合科学高等学校

- ・工業系5学科と理数系1学科の計6学科で構成され、特色ある教育活動を展開。

④橘高等学校

- ・普通科5学級、スポーツ科1学級、国際科1学級で構成され、特色ある教育活動を展開。

⑤高津高等学校

- ・多様なニーズに対応できるよう進路別のカリキュラムで教育活動を展開。令和元年度からBYOD方式による一人1台のPCを活用した学習等を導入。

(2) 定時制課程

①川崎高等学校

- ・平成26年度から**二部制定時制として普通科昼間部を設置**。
- ・キャリア教育の推進に向けた指導と支援を実施。

②幸高等学校（商業高等学校）

- ・平成26年度から普通科の募集を停止。
- ・平成29年度から商業科を川崎総合科学高等学校定時制課程へ移行。

③川崎総合科学高等学校

- ・平成26年度から2つの学科（電気・電子科、機械科）を**クリエイティブ工学科に統合**。
- ・平成29年度に**商業科を商業高等学校定時制から移行**。

④橘高等学校

- ・平成25年度から**三年制課程を廃止**、四年制課程のみとし三修制コースの選択を可能とする。

⑤高津高等学校

- ・平成29年9月からキャリア教育の推進に向けた指導と支援を実施。

3 第2次計画策定に向けた基本的な考え方

- (1) 新しい時代に求められる資質・能力の育成
  - ・新たな価値を生み出す**豊かな創造性**
  - ・グローバル化の中で**多様性を尊重する力** 等
- (2) 振興計画による取組の推進
  - ・教育内容・方法の充実（**学びの場の充実のための学級編成**や、学び直し等の居場所づくり 等）

- ・開かれた学校づくり（**地域との連携**を図った教育活動 等）
- ・意欲的な活動を支援する条件づくり（**ICT環境の充実**等）
- (3) 計画の取組期間：令和2年度から概ね10年間
  - ・取組の実施状況や社会情勢の変化等を踏まえ、本市総合計画やかわさき教育プランの点検・評価及び実施計画策定作業の中で検証・見直しを行う。

4 主な課題と課題解決に向けた考え方

5 第2次計画の取組

(1) 全日制 普通科	①普通科教育について → 魅力ある普通科教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カリキュラム・マネジメント                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの資質・能力を伸ばせるような授業改善や<b>教科のつながりを意識した教育課程を編成</b>する必要がある。</li> </ul> </li> <li>○キャリア教育                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>生徒自らがキャリアをデザインする力の育成</b>に向けた教育課程を編成する必要がある。</li> </ul> </li> <li>○ICT環境の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>社会の情報化に対応する能力を育成</b>するためのICT環境を備える必要がある。</li> </ul> </li> <li>○中学生の普通科志向                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の<b>中学生の普通科志向</b>に対応する必要がある。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等の見方・考え方を働かせた<b>横断的な視点による教育課程</b>の編成と実施、評価、改善を進める<b>カリキュラム・マネジメントの充実</b></li> <li>・キャリアに直結する学校設定科目を開設し、<b>体験的・課題解決的な授業の実施</b></li> <li>・高津高等学校と橘高等学校における無線LAN等の<b>ICT環境の計画的な整備</b></li> <li>・<b>幸高等学校普通科の2学級募集を3学級募集へ拡大</b></li> </ul>
	②中高一貫教育校について → 中高一貫教育校の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グローバルコミュニケーション力                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの国際社会において、<b>社会課題に対する関心や教養、コミュニケーション能力等の向上</b>が求められている。</li> </ul> </li> <li>○総合的な探究の時間                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>課題を発見し、解決していくための資質・能力の育成</b>が求められている。</li> </ul> </li> <li>○特色ある中高一貫教育                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属中学校からの進学生徒と高等学校からの入学生徒との間に、ICT活用の習熟度や学習到達度の差が見られる。</li> <li>・<b>体系・継続的な教育活動の更なる推進</b>が求められている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な教科の特色を生かした教育課程の編成や、海外研修の充実、市のグローバル人材育成事業への積極的な参加等、<b>グローバルコミュニケーション力の向上等につながる取組の実施</b></li> <li>・横浜国立大学や企業等との<b>連携</b>による外部の知見を活用した取組の充実及び<b>ICT活用による学習効果の向上</b></li> <li>・「<b>学習指導要領等によらない特別的教育課程</b>」の編成</li> <li>・<b>川崎高等学校の入学選抜での普通科の募集を停止</b></li> </ul>
	①専門教育について → 進路実現を目指した専門教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門教育                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の発展を担う人材育成のため、<b>社会や産業の変化に応じた専門教育指導が必要</b>であり、各校で改善を図る必要がある。</li> <li>・職業体験の機会を更に得るため、地域や企業、大学等と連携し、<b>キャリア教育や職業教育の推進</b>を図る必要がある。</li> </ul> </li> <li>○専門学科離れ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の専門学科で定員割れが生じているため、<b>学級編成等について普通科とのバランスを考慮し検討</b>する必要がある。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の変化やニーズに対応した<b>科目構成や内容についての検討・改善</b>、社会変化に対応した人材育成の推進</li> <li>・<b>インターシップの積極的な実施</b>及び、実施先や期間、内容等を検討・改善することによる一層の充実</li> <li>・<b>幸高等学校ビジネス教養科の4学級募集を3学級募集へ変更</b></li> </ul>
	②専門学科の情報発信について → 特色ある専門学科の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学科離れの課題に対し、<b>専門学科の特色について中学生や地域に理解を深めてもらう工夫</b>が必要である。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある取組や成果を積極的に紹介するための<b>説明会や合同発表会等の開催及び内容充実に向けた取組</b>の推進</li> </ul>
	(2) 全日制 専門学科	①定時制自立支援について → 定時制自立支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自立支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な課題を抱える生徒の相談や進路指導等の対応、生徒同士の学び合いの場となる<b>居場所づくりが必要</b>とされている。</li> </ul> </li> </ul>
②定時制における学びについて → 定時制における学びの充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>○学びの充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>課題を抱える生徒への対応、特に外国につながる生徒の日本語指導の支援が必要</b>であり、学び直しや特別な支援が必要な生徒等への支援の充実を図る。</li> </ul> </li> <li>○学級編成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ニーズの高い昼間部と大幅な定員割れを続けている夜間部の学級編成</b>についての検討が必要である。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業前や放課後の個別学習等、<b>生徒の学習機会確保</b>の工夫、<b>日本語指導の必要な生徒に対してのサポート</b>や学校の支援体制のより一層の充実</li> <li>・<b>高津高等学校の3学級募集を2学級募集へ変更</b></li> <li>・<b>川崎高等学校夜間部の募集を停止</b></li> <li>・<b>川崎高等学校昼間部の2学級募集を4学級募集へ拡大</b></li> </ul>
③定時制課程			